



2007年2月21日

## 投資信託銘柄追加のお知らせ

～人気のアジア諸国に投資する投資信託3銘柄追加！～

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、2月21日（水）約定分より、投資信託3銘柄を取扱い銘柄に追加いたします。今回の追加により、弊社取扱い投資信託の銘柄数は59銘柄となります。

また、当社では1月29日（月）～4月27日（金）15：00までの期間中に楽天証券が指定する投資信託をお買い付けいただいたお客様のなかから毎月抽選で50名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントする「投資信託ビッグチャンスキャンペーン」を実施いたしております。当該銘柄は、キャンペーン該当商品に追加されます。

### 背景と目的・狙い

投資信託協会が2月14日に発表した1月末の投信概況によると、公募株式投信は57兆6600億円となり、前月から3.6%増加しています。また、公募株式投信の残高は八カ月連続で過去最高を更新しています。種類別では国際株式型に単月で過去最高となる4,400億円の資金が流入し、配当利回りが高いアジア株に投資する高配当株ファンドや、新興国ファンドが好調となっています。

楽天証券では、この流れを受け、人気のアジア諸国に投資する3銘柄の投資信託を追加し、投資家の多様なニーズに応えてまいります。

### 各投資信託の特徴について

「シュローダー・アジア公社債ファンド 愛称：アジアン円舞曲（ワルツ）」は近年急速な発展を遂げ、投資機会が拡大するアジア諸国（日本を除く）の公社債を主要対象とします。

（設定・運用 シュローダー投信投資顧問株式会社）

「JPM エマージング株式ファンド」は信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に JPM エマージング株式マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券を主要投資対象として運用を行います。

（設定・運用 JPMオルガン・アセット・マネジメント株式会社）

「JFチャイナ・アクティブ・オープン」は、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、当ファンドと実質的に同一の運用の基本方針を有し、主として中国・香港の株式を投資対象とする JFチャイナ・アクティブ・オープン・マザーファンドを主要対象として運用を行います。

（設定・運用 JPMオルガン・アセット・マネジメント株式会社）